

2019年度  
社会福祉法人イリアンソス  
**事業報告**



## 目次

### 第1 2019年度イリアンソス事業報告について

- 1 法人の理念
- 2 情勢展望報告
- 3 法人事業報告
- 4 法人運営報告
  - (1) 法人役員
  - (2) 職員体制
  - (3) 理事会・評議会
  - (4) 法人会議
  - (5) 家族会
  - (6) 研修
  - (7) 施設整備
  - (8) 職員採用
  - (9) 担当者会

### 第2 事業別報告

- 1 日中支援部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所の報告
    - 1) のぞみの家
    - 2) 活動センターかなえ
    - 3) なかまの家
- 2 生活寮部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所の報告
    - 1) うみ・そら
    - 2) にじ・かぜ
    - 3) 短期入所
- 3 余暇・居宅部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所の報告
- 4 相談部門
  - (1) 重点課題
- 5 事務部門
  - (1) 重点課題

## 第1 2019年度 イリアンソス事業報告について

### 1. 法人の理念

- 1 障害のある利用者一人一人を「主人公」として、生きてきたそれぞれの歴史を大切に、これからの人生を共に考えていくことのできるきめの細かい丁寧な実践をすすめます。
- 2 職員一人一人が見通しと目標を持って仕事に立ち向かい、自らの成長への願いと力量を高めていくことのできる職場づくりをすすめます。
- 3 利用者、家族、職員、役員など法人を構成する一人一人の意見が決定の過程に反映され、理解と納得のもとに実行に移していくことのできる組織運営をすすめます。
- 4 時代の変化や地域の要請に応えていくことのできる法人、施設として経営基盤の確立を求めつつ新たな事業展開をしていきます。

### 2. 情勢展望報告

#### 一人ひとりが大切にされる社会に

今年度は、きょうされんが制作した東日本大震災関連の映画「星に語りて」をイリアンソス後援会主催で多くの方に見ていただく取り組みをおこないました。5月と2月に上映会をおこないました。映画を観ていただいた方たちからは、障害があってもなくても、命を大切にされる社会にしていきたいですねといった感想を多くいただきました。とてもいい映画なので、一人でも多くの人に見ていただく取り組みを今後とも続けていきたいと思えます。

じつは、2回目の上映会がおこなわれた2月15日の時には、この新型コロナの感染が徐々に広がっていた時で、まだそれほど危機感を感じておりませんでした。

しかし、あっという間に本格的な新型コロナの影響が広がり、いつ終わるのかも分からない事態になってしまいました。

#### 新型コロナは我が国の社会保障の姿を写す

東京オリンピックの延長が決まるとすぐに「緊急事態宣言」がおこなわれました。4月7日です。国民に対し不要不急の外出を控え、企業にはテレワーク、飲食店などには休業の要請がでました。しかし、こうした国や自治体からの要請に並行して、保障の動きが鈍く生活に困っている家庭や休業要請をされても休めない飲食店などがさまざまな問題が浮き彫りになってきています。さらに、特別定額給付金や雇用調整助成金などいろいろな支援が提案されていますが、手続きの煩雑さによってそれぞれ困っている個人や事業所に必要な資金がすぐ

には届く仕組みにはなっていません。

こうしたこの間の国の動きを見ると、前回も掲載した平成25年8月6日の「社会保障制度改革国民会議」の報告書通りに動いていると思わざるを得ません。つまり、「国民の生活は、自らが働いて自らの生活を支え、自らの健康は自ら維持するという『自助』を基本…」であり、この国の社会保障は、憲法で定めた「公的責任」を極力抑えるといった動きです。国民に犠牲を強いて、国は何もしない。国の考える社会保障がまさに新型コロナにおいて具現化されたのではないのでしょうか。

この新型コロナ感染は、夏にむけて動きが鈍くなり秋冬に第2波が来るのではないかとされています。この対策に向けて国があくまで「自助」を中心に施策を続けるとなると、わたしたち国民は国に対して大きく信頼を損なうことになると考えます。ここは、憲法で定める「公的責任」を前面に押し出し、国民すべての命を守る施策に舵をきっていただきたいと思います。

### **科学的な根拠をもとに、命を守る活動**

国における新型コロナ対策があまりにも後手後手になっていることと、科学的根拠が示されないまま「緊急事態宣言」がおこなわれ、さらに5月31日までに延長が決まったとたん、政府、マスコミの間では解除の話が進むといった風潮が漂っています。全く科学的根拠がない動きです。

この間、法人事業所の利用者にも陽性反応が出た方がいました。保健所からはこの利用者の発症が自宅待機中であるという判断で、すべての事業所には濃厚接触者がいないこととなりました。そのため、通常の活動を続けていくことができました。ただ、この間のマスコミの取り上げ方とその反応をみると、新型コロナ感染者に対する誹謗中傷が多発しています。この状況は利用者家族にとってもとても恐怖を感じたのではないかと思います。また、休業要請が出た時にも、他の地域では、障害者の事業所が活動していることに対してなぜ休まないのかといった苦情があったと聞いています。そのため、きょうされんを通して国や東京都にわたしたちの活動の必要性を強く要望しました。そして、4月22日付東京都議会名で「…この国難に当たり、都民や国民の命及び財産を守り、生活を支えるために日々奮闘するすべてのエッセンシャルワーカーに、都民を代表して敬意と感謝の意を表する…」をホームページに掲載していただきました。

まだまだ終息の道筋は見えませんが、法人一丸となって取組み、新型コロナ後の世界の姿が、一人ひとりの命を大切にすることを願い活動していきたいと考えます。

※エッセンシャルワーカー…生活必須職従事者。医療従事者、ライフラインや物流棟の機能を守る人々、保育や障害者・高齢者福祉などに当たる人々のこと。

### 3. 法人事業報告

#### (1) 人材確保と育成

今年度卒業者から常勤職員に男性1名・女性3名を確保することができました。これまでの新規採用者への対応を刷新し、法人として新しい人材を全体で迎えていく仕組みをおこないました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い最小限の入職式を実施しました。

#### (2) 事務の一本化の実現と事業の連携

現在、4つの部門による事業を進めています。その中で、法人全体で人事交流や事務の効率化を図るために、昨年度から事務の一本化を進めてまいりました。

それぞれの部門で事務を担っている担当者での会議をおこなうことで、法人全体の事務の共有化を進めることができました。また、法人全体での勤怠管理の仕組みに取り組むことができ、来年度からの実施の見通しを作ることができました。

#### (3) 専門職との更なる連携

年齢を重ねる利用者の支援において、医療やリハビリなど専門職との連携が必要となってきています。今年度も取り組みを継続することができ、生活寮では利用者の健康状態の把握を家族や訪問看護師との連携で対応することができました。

#### (4) 利用者・家族会の意見を反映

今年度も全体家族会では、「成年後見人制度」における東久留米市の状況を東久留米市社会福祉協議会の担当者をお招きして、学習会をおこなうことができました。その際、家族の様々な悩みなどを出していただき、今後の法人の方針に役立てていきます。

### 4. 法人運営報告

#### (1) 法人役員

##### 1) 理事・監事

ア. 定数 理事6人 監事2人

イ. 任期 令和元年6月25日～2年後の定時評議員会終了まで

##### 2) 評議員

ア. 定数 7人

イ. 任期 平成29年3月15日～4年後の定時評議員会終了まで

##### 3) 評議員選任解任委員

ア. 定数 3人

イ. 任期 平成29年3月1日～4年後の定時評議員会終了まで

##### 4) 法人事務局員

ア. 2名

## (2) 職員体制

		常勤（上段）							
		非常勤（下段,カッコ内の数字はパート）							
		施設長	サビ管	主任	リーダー	支援員	事務	小計	
日中支援部門	のぞみの家	1	1	3			1	6	
						3 (25)	(1)	3 (26)	
	かなえ	1	1	3		1		6	
						3 (15)	1 (2)	4 (17)	
	なかまの家	①	①	2		1		4	
						1 (8)	1	2 (8)	
生活寮部門	うみ	①	1	1		2	1	11	
						(9)			
	そら					2△			
					1	(5)			
	にじ				1	1			
						1△ (4)			
かぜ		1	1						
						(5)	1 (23)		
余暇・居宅・相談支援部門	このみ	①	1			1		2	
						1 (9)	(①)	1 (10)	
	日中移動		①			①			2
						1 (5)			1 (5)
	相支		①						1
			①				①	(①)	1 (1)
合計		6	7	11		8	2	31	
		1			1	4 (58)	(5)	9 (63)	

※○に数字は兼任

※サビ管はサービス管理責任者の略

※放課後＝放課後等デイサービス

※移支＝移動支援事業

※かなえ＝活動センターかなえ

※日中＝日中一時支援事業

※相支＝イリアンソス相談支援センター

### (3) 評議員会・理事会

#### 1) 評議員会

回数	日にち	出席者	議事内容	
1	6月25日	評議員 5名 理事 1名 監事 2名	報告	処遇改善金について
			審議	平成30年度事業報告の承認について 平成30年度決算報告の承認について 理事の選任について 監事の選任について
2	3月24日	評議員 7名 (書面) 理事 1名 監事 2名	報告	2019年度補正予算について 2020年度事業計画について 2020年度当初予算について

#### 2) 理事会

回数	日にち	出席者	議事内容	
1	6月11日	理事 6名 監事 1名	報告	処遇改善金について
			審議	平成30年度事業報告(案)について 平成30年度決算報告(案)について 平成30年度監査報告について 理事候補者の選任について 監事候補者の選任について 評議員会の開催について
2	6月25日	理事 5名 監事 2名	審議	理事長の選定について

3	10月16日	理事6名 監事1名	報告	理事長報告
			審議	補正予算(案)について 虐待防止委員会(案)について 特定処遇改善金について
4	3月24日	理事6名 監事1名	報告	理事長報告
			審議	2019年度補正予算(案)について 2020年度事業計画(案)について 2020年度当初予算(案)について

#### (4) 法人会議

##### 1) 部門長会議

月1回・理事長、部門責任者(日中、生活寮、余暇・居宅、事務)

##### 2) 事務局会議

月2回・理事長、各施設管理者及びそれに準ずる役職

#### (5) 家族会

法人全体の家族会を以下内容にて行いました。

##### 第1回

日時：2019年8月6日(木)10時～

内容：法人の活動について、他

##### 第2回

日時：2020年2月4日(火)10時～

内容：講演「成年後見制度について」

講師：岡野氏(東久留米市社会福祉協議会)

#### (6) 研修

今年度は職員一人一人のスキルアップのため、通所事業所で研修会に最低2日は参加することを目標に行ってきました。職員が希望する研修を選ぶほか施設長が提案するなどして、ほぼ全職員が研修会に参加しました。

虐待防止委員会では下記の通り「職員研修」と企画しました。

日時：2019年9月7日(土)10時～

内容：講演「虐待防止について」

講師：関哉直人氏(弁護士)



## **(7) 施設整備**

### **1) のぞみの家**

ア. 屋上・塔屋 防水改修工事

事業総額 3, 201, 000円(税込)

### **2) 活動センターかなえ**

ア. 新しい入所者及び利用者に必要な備品購入

### **3) なかまの家**

ア. リフト・リハビリベッド

事業総額 721, 634円(税込)

### **4) 生活寮部門**

ア. うみそらウッドデッキの改修工事

事業総額 1, 699, 585円(税込)

イ. にじかぜ壁の改修工事

事業総額 2, 142, 288円(税込)

ウ. にじの浴室・更衣室のバリアフリー化

事業総額 2, 905, 582円(税込)

## **(8) 職員採用**

令和元年度の職員採用は、3月31日時点で新卒4名・中途採用1名となりました。大学一括求人サイトの活用、東京都主催の合同面接会への応募、無料求人サイトへの登録、当法人のHPへの掲載が大きな柱となりました。

今年度は、施設見学→説明会→面接をおこない、各事業所の施設長が積極的にかかわることで、今までの採用までのプロセスをより丁寧に進めることができました。

## **(9) 担当者会**

### **1) 防災環境**

ア. ヒヤリハット・事故報告書の共有について

毎回、各事業所から報告し組織の問題として情報共有をおこないました。

イ. 防災について

水害についてハザードマップなどを利用し情報共有をおこないました。発電機や備蓄品、持ち出し袋などの保管場所や内容、使用方法など各事業所で確認しています。まだ確認されていないものがあるので各事業所で実施できるよう担当者が中心になりすすめていく必要があります。

ウ. 環境について

各事業所、安心・安全で快適な環境作りを目指しました。

### **2) 健康衛生**

ア. 食事について

今年度は食事支援の一環として、口腔ケアに重点を置きました。多摩小平保健所の歯科医師と歯科衛生士をお招きして意見交換をおこないました。また、

さいわい福祉センター主催の東京都立心身障害者口腔保健センターの歯科衛生士による「障がいある人の歯と口の健康を守ろう」の研修に参加し、歯科に対する衛生の意識を高めることができました。

#### イ. 情報の共有について

各事業所の近況報告を情報交換することで、インフルエンザや感染症などの課題共有ができ、連携を強めることができました。生活寮の担当者が毎回参加できるようになり、利用者の姿を24時間、昼夜継続で把握することができたことは大きな成果です。

### 3) 車両送迎

#### ア. 危機管理の向上について

各車に搭載してある「事故対応マニュアル」を見直し、活用できるように事故訓練をおこないました。各事業所で必要に応じてドライブレコーダーを設置しました。

#### イ. 車両管理について

車両管理表を使用して、走行距離等の把握をおこないました。管理表を根拠にして担当者会議で車両購入や廃車の検討をおこないました。結果として、のぞみの家の新車を購入・なかまの家のトラックを廃車にしました。

### 4) 広報部会

#### ア. 定期発行について

年4回の発行を達成できました。会議日程の固定化を計ったことで、定期的に会議開催ができ、年4回の発行が達成できました。

#### イ. 内容の充実について

記事の内容を広報委員のみではなく、法人職員で分担しながら作成していききました。全体で作る意識が高まり、様々な情報を発信することができました。

### 5) 虐待防止委員会

#### ア. 虐待防止の為の支援の質を向上させます

年に3回、委員会を開催して、虐待防止に向けた話し合いをおこないました。研修会を開催して、支援の振り返りをおこないました。

## 第2 事業別報告

### 1. 日中支援部門

#### (1) 重点課題

1) 喫茶事業では、一人の利用者が安定して事業にかかわることができています。また、活動センターかなえのちゅうーリップ班を中心に、開店前の店内及び市役所ロビーの清掃などに参加しました。さらに喫茶関係の買い出しなども仕事として取り組むことができました。

2) 担当者会議（健康衛生、車両送迎、環境整備）ほぼ定着しています。特に「健康衛生」の会議は全事業所が集まり感染症の対応や対策、利用者の健康状態などを共有しあうことができインフルエンザ予防等の対策に成果を上げています。引き続き、担当者会の役割を重視し情報の共有化を図ることを大切に組みます。

3) 事業報告会をはじめ、今年度は虐待防止委員会が主催した職員研修会を行うことができました。

4) サービス管理責任者が中心になり、交流会や事業報告会の準備、企画、運営を行うことができました。

#### (2) 各事業所の報告

##### 1) のぞみの家

###### ア. 運営状況

(ア) 開所日数 238日

(イ) 在籍者数 1日平均23.27人

(ウ) 平均工賃 月1,620円 賞与2,000円

(エ) 工賃総額 工賃総額536,020円

###### イ. 利用者の状況 (2019年3月31日現在)

###### (ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
チャレンジ班	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7
たんぽぽ班	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
おひさま班	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
合計	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25	25

###### (イ) 居住地別

	東久留米	東村山	杉並	合計
チャレンジ班	5	1	1	7
たんぽぽ班	6	2		8
おひさま班	9	1		10
合計	20	4	1	25

(ウ) 生活拠点別

	自宅 (家族同居)	自宅 (1人暮らし)	生活寮	合計
チャレンジ班	1	1	5	7
たんぽぽ班	2		6	8
おひさま班	4		6	9
合計	7	1	16	24

(エ) 年齢構成

	性別	～	～	～	～	～40	～	～	51	計
		20	25	30	35		45	50	～	
チャレンジ班	男			1			1	1	1	4
	女				1				2	3
たんぽぽ班	男				1	1	2			4
	女				1		3			4
おひさま班	男			1	1		1			3
	女		1		2	2		1	1	7
合計			1	2	6	3	7	2	4	
平均年齢		男性 40.5歳			女性 40.4歳			合計 40.5歳		

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳 (知的障害)						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害者 手帳	1種	1級	5	6		3	2	16
		2級		4				4
		3級						
		4級		1				1
	2種	5級		3				3
	なし					1		1
	合計		5	14		4	2	25

## イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
チャレンジ班	4	2		1			7
たんぽぽ班	8						8
おひさま班	10						10
合計	22	2		1			25

障害・疾患（医療的ケア）の内容

脳性まひ 体幹機能障害 知的障害 視力障害 聴力障害 言語障害  
てんかん レノクス症候群 小頭症 脳梗塞 捻転ジストニア レット症候群  
自閉症 脊髄損傷 その他

### (カ) 車いすの使用状況

利用状況		チャレンジ班	たんぽぽ班	おひさま班	合計
常時	自力移動可	3			3
	自力移動不可	1		9	9
状況により	外出時使用	1	5	1	6
	その他				1
独歩	要介助		3		4
	独歩	2			2
合計		7	8	10	25

## ウ. スタッフの状況 (2019年3月31日現在)

### (ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
現場会議	正規職員、非常勤職員	毎週1回
アセスメント モニタリング 会議	サービス管理責任者、主任、担当職員	随時
各班会議	サービス管理責任者、各班主任、各班担当職員	毎月1回
保健・車両・防災	看護師（保健衛生のみ）、担当職員	毎月1回
寮ケース会議	担当職員、各寮の職員、	毎月1回

(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
サービス管理責任者	1				1	
事務	1		1		2	
支援員	3	3	16		22	
調理員		1(栄養士)	1		2	
運転手				4	4	
嘱託医		1			1	2ヶ月1回
看護師		1			1	週2回
理学療法士				1	1	月1回
会計				1	1	月1回以上
労務士				1	1	適宜
清掃				1	1	年6回
合計	6	6	18	8	38	

(ウ) 1日の体制

職名		常勤	非常勤	パート ①	パート ②	パート ③	パート ④	合計
施設長		1						1
事務		1		1				2
サービス管理責任者	チャレンジ班	1	1		1			2
	たんぼぼ班		1	2	2			5
	おひさま班		1	1	5			7
給食						2		2
運転手							3	
合計								

※パート①② (事務・実践) : 9時30分～17時00分、8時30分～、9時～、10時～

パート③ (給食) : 8時30分～14時15分

パート④ (運転) : 朝、帰りの送迎時間のみ

8時30分～10時 15時30分～17時

## エ. 重点課題

### (ア) 班体制を再考します

班の再編成と活動場所の変更をおこないました。日々の活動を個々に合わせて柔軟に組み立てていきました。活動場所が分かれる事での職員間の連携が一層重要になってきました。

### (イ) 医療機関と連携します

通院の人数と頻度が増えています。施設内のみではなく、関係者と連絡調整をおこないながら医療機関と連携していきました。新たに訪問看護の導入が実現した利用者もいました。

### (ウ) 地域交流をおこないます

市内の社会福祉法人連絡会に参加して地域の福祉ニーズの掘り起こしについて検討していきました。今後も今までに希薄であった繋がりを模索していきます。

### (エ) 実践的な防災訓練をおこないます

法定の避難訓練に加えて、非常階段を使用した訓練を職員のみで実施しました。今後は利用者を含めた実践的な訓練を開催していきます。担当者が中心となって年間計画の作成をおこない実施していきます。

### (オ) 職員採用と教育体制を整えます

施設内でのキャリアパスを作成しました。それを基に職員面談を2回おこない、目標や課題を話し合いました。男性職員については、採用後の定着に至りませんでした。採用基準や教育方法を検討していきます。

## オ. 各班の重点課題

### (ア) チャレンジドリームズ班

ア) 地域との繋がりを大切にしていきます。

予定の確認や進行状況、全体の仕事の流れをホワイトボードや会議で分かり易く伝えました。一人ひとりが見通しを持ちながら自信を持って取り組む姿勢が見られました。

イ) 仕事内容を見直し、生活の幅を広げていきます。

工賃の見直しや売上げの集計等、収支を意識しながら仕事の目的や今後の課題など、イメージ作りを行ないました。又、班の枠を超え柔軟な活動を組み立てる事で、より個別ニーズに合わせた活動を実践しました。

### (イ) 元気なたんぽぽ班

ア) 個々の年齢や身体の状態に合わせた、柔軟な活動内容を考えていきます。

週に2回のリラククス活動を取り入れました。この活動では、PTプログラムによるストレッチを定期的に行いました。また、その他の活動の中で一人ひとりの体調に合わせて、仕事や体を動かす活動、体を休める活動などメリハリを持って活動をしました。

イ) 五感を使った活動を取り入れていきます。

ランプシェードでは、手全体で素材の感触を感じたり、ボンドの匂いや色とりどりの和紙を貼ったり視覚や嗅覚も通しながら活動しました。また、スクリーンで絵本の読み聞かせ動画を観ながら五感を使う活動を行いました。

#### (ウ) おひさま班

ア) 個々の要求に沿った支援を行います。

臨機応変に2つの班にわかれて活動ができました。そのことにより自分の気持ちを伝えやすい環境づくりができました。

旅行を2つの班に分かれて実行できました。体調や体力に合わせて行き先を変えて楽しむことができました。

イ) 24時間の生活を視野に入れた健康管理、機能維持に努めます。

生活寮との支援会議を実施しました。それぞれで抱える悩みや不安を共有でき安心した支援に繋がることができました。今後も必要に応じた支援会議を行っていきます。

通院同行を行いました。直接医療機関とのやり取りができ情報を共有する事ができました。

#### カ. 仕事

(ア) 自主製品 売り上げ 110,000円

物品販売や作品展で販売しました。経費を考慮した値段設定をおこないました。

(イ) ケーキ 売り上げ 659,130円

かふえ「てん」での販売が定着しました。安心して製造出来るよう作業工程を見直しました。

(ウ) 喫茶 売り上げ 50,310円

無駄なく販売出来るようコーヒー等新規商品を購入しました。

(エ) お茶 売り上げ 65,600円

在庫管理をおこない、廃棄が無いように販売出来ました。

(オ) オムツ 売り上げ 734,577円

担当者と連携して、お金のやりとりのミスが無いように販売しました。

(カ) ふきん 売り上げ 3,440円

臨時の注文に対応できるように、在庫管理をおこないました。

(キ) データ入力 売り上げ 0円

今年度は、受注がありませんでした。今後に繋げて行きます。

(ク) リサイクル久留店 売り上げ 196,697円

無理の無い開催回数で、できることを丁寧に行いました。

(ケ) きょうされん物品販売 売り上げ 1,661,270円

全員で取り組む意識を大切に販売状況の確認や営業活動をおこないました。

(コ) 牛乳パック回収 売り上げ 7,952円

徒歩や車を使用して回収をおこないました。



## キ.その他の活動

### (ア) 機能訓練

必要に応じたストレッチプログラムの見直しを行い、定期的にストレッチをおこないました。

### (イ) 給食

調理器具を活用し短時間で食べやすい形態を作ることができました。配膳車の購入により衛生的で効率の良い配膳がおこえました。

### (ウ) 旅行

前年度中に予算や行き先を検討でき、旅行内容をより深めた計画ができました。3回の旅行を4回に分けておこないました。体調や体力に合わせた内容にすることが出来ました。体調不良等で当日休む事も想定し、対応策を考慮する必要があります。

### (エ) 作品展

通所部門の作品展開催も検討しましたが、のぞみの家の作品展の開催としました。作品展の意義を伝えることを大切にしながら、日々の活動とのつながりが意識できる内容となりました。準備段階と開催期間中の慌しさからヒヤリハット、事故のリスクも大きくなったので、改めて計画性を大切にしていきます。

### (オ) 地域行事

参加の目的を利用者自治会で確認し、特別支援学校のお祭りなど利用者が主体的となって参加しました。

### (カ) 会議

目的を明確にして、決定事項を確実に実行できるよう会議の振り返りを丁寧におこなっていきました。

### (キ) 実習生

介護等体験・介護福祉士の大学生を積極的に受け入れました。オリエンテーションをおこない、実りある実習になるとともに、障害福祉の意義も伝えていきました。

### (ク) ボランティア

施設の情報発信していき、より多くのボランティアが参画できるようにしました。ピアノ演奏のボランティアさんにより、活動の幅が広がりました。

### (ケ) 研修

東社協の階層別研修に新任・中堅・リーダーにそれぞれ職員1名が参加しました。施設内で研修報告会をおこない、学んだことを発表して実践に活かすようにしました。

## ク. 消防報告

エレベーターでの避難に要する時間の計測・スタッフによる避難用滑り台使用での避難訓練を行い緊急時のイメージを把握しました。これを踏まえて今後具体的な訓練に繋げていきます。

ケ. 活動の報告

(ア) 1日

8:30	朝礼
9:00	受け入れ開始
10:00	朝の会 午前の仕事開始
12:15	昼食
13:30	チャレンジ班 仕事開始
14:00	おひさま班・元気なたんぽぽ班 午後活動開始
15:00	帰りの会
16:00	送迎・掃除
17:00	終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	ストレッチ 資源回収 和紙 絵画 パソコン ケーキ作り	ストレッチ 資源回収 和紙 絵画 パソコン ケーキ作り	ストレッチ 資源回収 和紙 絵画 パソコン ケーキ作り	ストレッチ 資源回収 和紙 絵画 パソコン ケーキ作り	レク (月1回は 外出レク)
午後	ストレッチ パソコン ケーキ作り ダンス	ストレッチ パソコン ケーキ作り ボーリング	ストレッチ パソコン ケーキ作り トランポリン プール	自治会 パソコン ケーキ作り ボールプール 調理	

(ウ) 1年間

	のぞみ内 行事	地域行事
4月	花見 きょうされん春物品販売	
5月	利用者健康診断	
6月	おひさま班 宿泊行事	
7月	チャレンジ班 宿泊行事 きょうされん 夏季物品販売	特別支援学校夏祭り
8月		東京都障害者美術展
9月	たんぽぽ班 宿泊行事	いのちかがやけ作品展
10月		地域センターまつり
11月	きょうされん冬季物品販売	特別支援学校文化祭 けんちの里まつり 青少協まつり
12月		のぞみの家作品展
1月		市の作品展
2月	きょうされんバレンタイン物品販売	
3月	きょうされんホワイトデー物品販売 がんばろう会 (のぞみ屋内で焼肉)	

## 2) 活動センターかなえ

### ア. 運営状況

(ア) 開所日数 238日

(イ) 在籍者数 1日平均21.1人

(ウ) 平均工賃 月1,600円 賞与9,000円

(エ) 工賃総額 工賃総額 647,000円

### イ. 利用者の状況 (2019年3月31日現在)

#### (ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
なのはな班	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
だるま班	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
ちゅーりっぷ班	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
合計	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23

#### (イ) 居住地別

	東久留米	三鷹	合計
なのはな班	5		5
だるま班	8		8
ちゅーりっぷ班	9	1	10
合計	22	1	23

#### (ウ) 生活拠点別

	自宅 (家族同居)	生活寮	合計
なのはな班	3	2	5
だるま班	2	6	8
ちゅーりっぷ班	8	2	10
合計	13	10	23

(エ) 年齢構成

	性別	～	～	～	～	～	～	～	51	計
		20	25	30	35	40	45	50	～	
なのはなグループ	男		1			1			1	3
	女					1		1		2
だるま班	男		1	2	1	2				6
	女	1			1					2
ちゅーりっぷ班	男	1	1	1			1		2	6
	女		2			1			1	4
合計		2	5	3	2	5	1	1	4	23
平均年齢		男性 35.6歳			女性 34.6歳			合計 35.3歳		

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級			1			1
		2級						
		3級		1				1
		4級						
	2種	4級		1				1
		精神3級			1			1
		なし	1	14	4			19
		合計	1	16	6			23

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
なのはなグループ	1	3	1				5
だるま班	7	1					8
ちゅーりっぷ班	3	4	3				10
合計	11	8	4				23

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 自閉症 ダウン症 精神障害 てんかん レノックス症候群 脳性マヒ  
による体幹機能障害 ルビンスタイン・タイビー症候群 動脈管開存症 他

(カ) 車いすの使用状況

利用状況		なのはなグループ	だるま班	ちゅーりっぷ班	合計
常時使用	自力移動可				
	自力移動不可				
状況により	外出時使用				
	その他				
独歩	要介助	1	1	4	6
	独歩	4	7	6	17
合計		5	8	10	23

ウ. スタッフの状況 (2019年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
現場会議	正規職員、非常勤職員	毎週1回
アセスメント モニタリング会議	サービス管理責任者、主任、担当職員	随時
各班会議	サービス管理責任者、各班主任、各班担当職員	毎月1回
寮ケース会議	担当職員、各寮の職員、	2ヶ月1回

(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
サービス管理責任者	1				1	
事務		1	2		3	
支援員	4	2	1 1		1 7	
運転手			2	1	3	
嘱託医		1			1	4ヶ月1回
看護師			1		1	1ヶ月2回
会計				1	1	月1回以上
栄養士		1			1	週に1回
労務士				1	1	適宜
清掃				1	1	年4回
合計	6	4	1 4	4	2 9	

(ウ) 1日の体制

職名		常勤	非常勤	パート ①	パート ②	パート ③	合計	
施設長		1					1	
事務			1	2			3	
サービス管理責任者	なのはなグループ		1		2			3
	だるま班	1	1		4		1	6
	ちゅーりっぷ班		1		2			4
運転手						2	2	
合計		5	3	2	8	2	2 0	

※パート① (事務)：8時30分～15時00分、

パート② (実践)：8時30分～16時30分、9時～17時、9時30分～、  
10時～15時30分

パート③ (運転)：朝、帰りの送迎時間のみ

8時30分～10時 15時30分～17時

## エ. 重点課題

### (ア) 利用者の増加を見通し、班編成を検討します。

人数が増えたちゅーりっぷ班を二つのグループに分けることと合わせて、部屋の移動をおこないました。

### (イ) 正規職員を2名採用します。

法人で様々な求人活動をおこなってきましたが、採用にはいたらず非常勤職員でカバーしました。

### (ウ) 喫茶の仕事に向けて準備します。

ちゅーりっぷ班の利用者が積極的に店員や店内の清掃をおこないました。また、なのはな班では喫茶に必要な買い出しの仕事などにも行いました。

## オ. 各班の重点課題

### (ア) なのはなグループ

ア) 落ち着いて活動できる環境をつくっていきます。

静かな環境で活動できるように利用者とのやり取りをおこないました。落ち着けない時には、それぞれの利用者が落ち着ける場所に移動しています。その事により気持ちを切り替えて活動する事ができました。

イ) それぞれの利用者にあった室内活動を検討し取り組んでいきます。

午後活動ではバディスタッフと相談しながら活動内容を決めています。体調や疲労度を見ながら時にはゆっくりと過ごす時間を取り無理のないように行いました。創作活動は定期的に取り組む事ができなかった為、今後は曜日を決めて取り組んでいきます。

ウ) 健康の維持・改善、身体機能の維持・改善を図ります。

曜日を決めてウォーキングやストレッチをおこないました。見通しを持って取り組む事ができましたが、ストレッチ内容の検討、見直しが今後の課題です。

### (イ) だるま班

ア) 自己表現できる活動として創作活動を充実させます。

新しい画用紙や絵の具を購入し、利用者本人が使う画材や絵の具を選んでいきます。新しい画材などにも取り組めるように準備していきます。

イ) 『グッズデザインコンクール』『ぴゅああーと展』などの作品展に応募します。また発表する場として今年度も『作品展』を開催します。

作品展を開催し、多くの人に作品をみていただきました。ぴゅああーと展ではだるま班から1名選考されました。

ウ) 和紙作りの作業を分担しながら取り組みます。

牛乳パックちぎりから紙すきまでの工程を、班として取り組みました。完成した和紙を付箋やメモ帳、スケジュール帳の表紙などに加工し、販売会で売りました特に付箋はたくさん売れました。

エ) 今年度より利用者が一人増えます。取り組み方やどの作業に取り組めるのかなど、利用者それぞれにあった作業内容を検討していきます。



新入所者も少しずつですが、かなえに慣れてきた様子も見られます。引き続き、利用者にあった作業や活動を検討します。

#### (ウ) ちゅーりっぷ班

ア) 前向きに活動へ取り組めるようにしていきます。

今年度も引き続き、利用者一人ひとりが役割をもって輝ける場面をつくりました。ご本人の「やりたい」という気持ちを大切に、係分担をしました。責任をもって、一年間取り組むことができました。

イ) 自主製品を作成し、販売会を開催します。

新たな自主製品を作製しました。平編みコースターをポシェットや小物入れなどにしました。販売会での売れ行きも良かったです。今年度も利用者全員の商品を販売することができました。

ウ) 身体機能の維持・改善を図ります。

健康面の相談を栄養士と嘱託医と相談をしています。また看護師と連携して、体重の過去一覧表を作りました。現在、継続して記入しています。

#### カ. 仕事

(ア) 資源回収 売り上げ 103,294円

資源の単価が下がってしまい、昨年度より売り上げが下がってしまいました。

(イ) 市報配布 売り上げ 349,609円

配布し忘れてしまうことないよう配布箇所を確認しながら取り組みました。

(ウ) 自主製品 売り上げ 58,545円

どのような製品にするかイメージしながら、手芸などに取り組みました。販売会では店頭での販売でしたが、多くの人に買ってもらうことが出来ました。

(エ) 空き地整備 売り上げ 221,399円

空き地内の清掃や除草を行いました。

(オ) 情報誌ぱど配布 売り上げ 52,267円

毎月、南沢2丁目と学園町2丁目の合計700枚を配布できました。利用者の安全と健康に気を付けて、配布期日を守って取り組むことができました。

(カ) 物品販売 売り上げ 911,125円

きょうされんの物品販売のカタログを利用し年4回取り組みました。毎回利用して頂けるお客様が少しずつ増えてきています。お客様に継続して利用して頂けるよう取り組みます。また、引き続き新規のお客様の獲得に努めます。

(キ) 喫茶 売り上げ 4,025,250円

利用者と一緒に取り組むことが出来ました。店内は衛生面に注意し、お客様が安心して利用して頂けるよう心掛けました。店外の掃除は週に1回、かなえの利用者と一緒にすることが出来ました。

柳久保うどんが好評です。

## キ. その他の活動

### (ア) 調理・レク

調理とレクを利用者皆、毎回とても楽しみにしています。内容は、自治会で自分たちの意見を伝え、みんなで決めていきます。期待が持てる活動をする事ができました。

### (イ) 旅行

安全を最優先に考え、それぞれの班で1泊2日の旅行を企画しました。各班の利用者特性を考慮し、旅行先を決めました。なのはなグループとちゅーりっぷ班は自治会を通してみんなで話し合い、自分たちの旅行をつくりあげていきました。

### (ウ) クラブ活動「フラワーセラピー」

ボランティアの先生に来ていただき2ヶ月に1回クラブ活動を行いました。見通しを持って楽しく行う事ができました。

### (エ) ウォーキング・散歩

仕事と運動とバランスよく活動することができました。季節を感じ、リラックスしたり、健康維持のために体力づくりをしたり、目的はさまざまでしたが、利用者の気持ちの安定につながりました。

### (オ) プール

スタッフ体制が整わず取り組むことが出来ませんでした。来年度は行えるようにスタッフ体制を整えます。

## ク. 消防計画

避難訓練（地震・火災）は毎月1回行いました。また、東京消防署の予防課による講習会でAED使用方法・非常通報用機器の使用方法・セコム誤作動時の対応・緊急時の流れの確認を行っています。3月予定していた総合訓練は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していません。

## ケ. 活動の報告

### (ア) 1日

時 間	なのはなグループ・だるま班 ちゅーりっぷ班	スタッフ
8 : 3 0	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業→休憩 休憩→室内作業 外作業 昼食・休憩	朝礼
8 : 4 0		送迎開始・準備・会議等
9 : 3 0		活動支援
		昼食支援
		片付け・活動準備
1 2 : 0 0		活動支援
1 3 : 3 0		室内作業 外作業 (休憩)
1 5 : 0 0	室内作業 外作業	
1 5 : 3 0	帰りの会	終礼
1 6 : 0 0	送迎	送迎

### (イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	外作業 資源回収 室内作業 ウォーキン グ	外作業 室内作業 ウォーキン グ	外作業 資源回収 室内作業 ウォーキン グ	外作業 室内作業 ウォーキン グ	外作業 室内作業 ウォーキン グ
午後	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウォーキン グ	外作業 創作 ウォーキン グ ※自治会	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウォーキン グ	外作業 室内作業 創作 ウォーキン グ	外作業 室内作業 創作 ウォーキン グ

- ・外作業…広報(チラシ)配布、情報誌ぱど配布、空き地整備
- ・室内作業…和紙製作、さきおり、手芸、広報(チラシ)折り
- ※自治会…週1回実施 ※調理…月1回実施

(ウ) 1年間

	かなえ内 行事	地域行事
4月	歓迎会	
5月		きょうされん東京支部 とうきょう大会
6月	なのはなグループ 宿泊行事 利用者健康診断	
7月	だるま班 宿泊行事 きょうされん 夏季物品販売	
8月		
9月	ちゅーりっぷ班 宿泊行事	いのちかがやけ作品展 きょうされん全国大会
10月	新入所・新成人を祝う会 わたしたちの作品展	
11月	手作り品販売会 きょうされん冬季物品販売	
12月	クリスマス会	
1月		
2月	きょうされんバレンタイン物品販売	ぴゅああーと展
3月	きょうされん春季物品販売	

### 3) なかまの家

#### ア. 運営状況

- (ア) 開所日数 238日
- (イ) 在籍者数 1日平均13.5人
- (ウ) 平均工賃 月2,000円 賞与18,000円
- (エ) 工賃総額 工賃総額 588,000円

#### イ. 利用者の状況 (2019年3月31日現在)

##### (ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
さくら班	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
りんご班	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
合計	16	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14

##### (イ) 居住地別

	東久留米市	西東京市	清瀬市	合計
さくら班	7	1		8
りんご班	5		1	6
合計	12	1	1	14

##### (ウ) 生活拠点別

	自宅 (家族同居)	自宅 (1人暮らし)	生活寮	合計
さくら班	3		5	8
りんご班	5		1	6
合計	8		6	14

(エ) 年齢構成

	性別	～20	～25	～30	～35	～40	～45	～50	51～	計
	さくら班	男				1	1	1	1	1
女					1		2			3
りんご班	男				2	1	2			5
	女					1				1
合計					4	3	5	1	1	14
平均年齢		男性 36.7 歳			女性 40 歳			合計 40.2 歳		

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び知的障害 者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害 者 手 帳	1 種	1級		2	1			3
		2級		1				1
		3級		1				1
	2 種	2級						
		3級		1				1
		4級						
	なし			8				8
合計			13	1			14	

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
さくら班	5	2	1				8
りんご班	6						6
合計	11	2	1				14

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 てんかん 自閉症 ダウン症

第五染色体異常症 脳性マヒによる体幹機能障害 その他

(カ) 車いすの使用状況

利用状況		さくら班	りんご班	合計
常時使用	自力移動可			
	自力移動不可		2	2
状況により 使用	外出時使用	1		1
	その他	1		1
独歩	要介助	6	4	10
	独歩			
合計		8	6	14

ウ. スタッフの状況 (2019年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、全職員	毎月1回
現場会議	サービス管理責任者、職員、	毎月1回
各班会議	各班主任、職員	毎月1回
リーダー会議	施設長、各班主任	週1回
健康・防災・車両 きょうされん	各担当職員	毎月1回
寮支援者会議	担当職員、寮職員	2ヶ月1回
モニタリング会議	サービス管理責任者、各班主任、職員	随時

(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
サービス管理責任者	1				1	兼務
事務		1			1	
支援員	3	1	8		12	
運転手				1	1	委託
嘱託医		1			1	3ヶ月1回
看護師		1			1	1ヶ月2回
栄養士		1			1	1週間1回
会計				1	1	月1回以上
労務士				1	1	適宜
清掃				1	1	年3回
合計	4	5	8	4	21	

(ウ) 1日の体制

職名		常勤		パート	委託	合計	
施設長		1				1	
事務		1				1	
サービス 管理者	さくら班	1	2	3		1	5
	りんご班		2	3			5
給食					1	1	
運転手					1	1	
合計		6		6	2	14	

※パート：8時30分～、9時～、～16時、～16時30分、～17時、状況によっていろいろ、

※委託 給食運搬（配膳）：11時30分～13時

※委託 運転手（運転）：朝・帰りの送迎のみ 8時30分～10時、15時30分～17時、



## エ. 重点課題

### (ア) おいしく安全に給食を食べられるようにしていきます。

食事(食形態、食具、食事の姿勢)について栄養士と連携し見直しをすすめました。また口腔ケアをご家庭や医療と連携し一人一人の歯の状態を把握しました。より個別に対応できるように引き続き実施していきます。また給食の委託先との連携や情報共有も必要です。

### (イ) リフトやリハビリベットを購入します。

リフト導入で車椅子の方や介助者が身体に負担なく着替えやオムツ交換ができるようになりました。またリハビリベットでマッサージやストレッチを車椅子の方だけでなく必要な方もおこないました。引き続き医療と連携しながら身体機能の維持のために使用しています。

### (ウ) トイレの改修をしていきます。

改修の予定でしたが、壁の改修からおこなうため来年度の実施予定になりました。丁寧に実施していきます。

### (エ) 年間計画をたて研修に参加します。

年間計画を立て職員全員が研修に参加できました。計画にない研修でも随時申請を職員間で確認しながら研修の参加を実施しました。

## オ. 各班の重点課題

### (ア) りんご班

ア) 楽しみながら活動に参加できるように支援します。

短い時間での作業を積み重ねたり、道具を積極的に使用したり一人一人のペースで活動に参加しました。

イ) 気分転換をします。体を動かしていきます。

散歩を積極的に取り入れ気分転換しました。また身体の機能維持やリラックスのためにマッサージ・ストレッチをおこないました。

### (イ) さくら班

ア) 創作、調理のスケジュールを作成し活動します。

調理はメニュー決めは概ね自治会でできていましたが、買い物担当決めはできていないときがありました。創作活動はスケジュール作成ができておらず内容を当日に決めておこなっていました。

イ) 活動後に成果を発表し、みんなで達成感を共有します。

利用者と一緒に成果の確認をしています。時間の都合でできない場合もあったため、しっかりとおこなえるよう時間の調整をしていきます。

## カ. 仕事

(ア) 資源回収 売り上げ 145,441円

回収先で資源が出されていない場所がある為、回収先の確認と整理が必要です。またチラシに経費がかかるため必要な配布範囲の確認が必要です。

(イ) 缶つぶし

年々回収量が減少しているため、今後どのように活動を行っていくか検討が必要です。また夏場の作業場所や日よけの方法など検討が必要です。

(ウ) パック整理 売り上げ 17,428円

倉庫内の整理を行い、回収したものと作業を終えた物の置き位置を変えることで以前よりもスペースを確保することができました。卸しに行く時期など明確な基準がない為今後検討していきます。

(エ) 市報配布・ぱど配り 売り上げ 377,728円

新しい地図を購入し配布場所の確認をしました。また配布ミスがないように配布する物やエリアの確認を引き続きしていきます。

(オ) チラシ配り 売り上げ 1,500円

依頼があったので1回実施しました。

(カ) 自主製品 売り上げ 103,300円

陶芸では干支の置物や皿などを作成しました。手芸では、クロスステッチでバックやビンオープナーの作成をし、陶芸と手芸品は販売会で地域の方々に販売しました。

(キ) ボーナスの取り組み 一人のボーナス金額 18,000円

きょうされんカタログ販売を中心にバレンタイン販売やきょうされんカレーの販売を行いました。顧客を獲得するため、カタログを今まで配布していた地域とは別に新たな地域に配布することで新規の注文を受けることが出来ました。陶芸、手芸、絵など、販売会の売り上げもボーナスに繋がりました。

(ク) 注文・販売に関して 売り上げ 350,450円

ペーパーについては受注がある為引き続き仕入れ販売を行っていきます。

お茶の販売は計画が予定よりずれてしまったり、お客様へお便りを配布し忘れていたりすることがあったため、再発予防の対策を検討していきます。

## キ. その他の活動

### (ア) 自治活動

毎週水曜日に、前半後半で、全体と班別で行い、利用者に分かりやすくするため写真や資料を準備して行いました。準備が不十分な場面もあり、資料や写真が無いまま話し合いを進める場面もありましたが少しずつ定着しています。スタッフの役割として、写真や資料の事前準備と雰囲気作りが今後の課題です。

### (イ) 陶芸・創作活動

陶芸はたたら造りの皿をメインに作成し自由作品が少なく作品展に出品する物がないという状況でした。作品作りのバランスも検討しながらスケジュールを作成していきます。誰のものか分からなくなった作品があった為、個人識別のアルファベットを確実に刻印するように徹底していきます。

創作は、作品を地域の方々にみていただくため作品展を開催しました。しかし、作品づくりにしっかりと取り組むために年間計画を作成することが必要です。

(ウ) ウォーキング・プール活動

(エ) 調理活動

さくら班はあんかけのメニューなどを取り入れ食べやすいものを作るようにしました。りんご班は、年間を通して同じメニューを調理することで見通しを持って取り組みました。また道具を使用し調理活動に積極的に関われる工夫をしました。

(オ) 手芸さきおり

さきおりの作業を生かし、ビンオープナーの作成、クロスステッチでバックの作成などを行いました。作品展や販売会に向けて製品化するためスケジュールを立てて行うことが今後の課題です。

(カ) レクリエーション

利用者それぞれにペースの違いがあることから、3班に班分けをして行いました。行先や内容などもそれぞれ違う内容で行いました。クリスマス会など合同でのレクリエーションも行っています。年間計画の作成や目的を明確にしておくことが今後の課題です。

月	1班	2班	3班
4月	小金井公園	昭和記念公園	1.2班と合同
5月	旅行	航空公園	1.2班と合同
6月	カラオケ	旅行	イオンモール東久留米
7月	イオンモール武蔵村山	昭和記念公園	イオンモール東久留米
8月	室内合同レクリエーション（すいか割り）		
9月	カラオケ	カラオケ	イオンモール東久留米
10月	法人全体入所・成人を祝う会		
11月	昭和記念公園	航空公園	イオンモール東久留米
12月	室内合同レクリエーション（クリスマス会）		
1月	深大寺	深大寺	サイボクハム (大雨中止)
2月	神代植物公園	昭和記念公園	サイボクハム
3月	小金井公園	金山公園	1.2班と合同

(キ) 旅行

1泊2日で茨城県に出かけました。普段経験出来ない体験をして楽しみました。

・さくら班 5月17日～5月18日

宿泊先「いこいの村潤沼」 観光先「ひたち海浜公園」

・りんご班 6月28日～6月29日

宿泊先「いこいの村涸沼」 観光先「大洗わくわく科学館・大洗アウトレット」

### ク. 消防計画

非常食や飲料水の確認をしました。非常持ち出し袋や他の備品については内容等引き続き確認や検討が必要です。また避難訓練は年間計画を作成し定期的に実施していく必要があります。

### ケ. 活動の報告

#### (ア) 1日

時 間	りんご班・さくら班	スタッフ
8 : 3 0		朝礼
8 : 4 0		送迎開始
9 : 0 0	受け入れ開始	準備・会議等
10 : 0 0	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
1 2 : 0 0	室内作業 外作業 昼食・休憩	昼食・昼食支援 片付け・休憩
1 3 : 3 0	室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
1 5 : 0 0	室内作業 外作業	
1 6 : 0 0	帰りの会	送迎
1 7 : 0 0	送迎	片付け・清掃・会議 終礼

#### (イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	・プールA班 B班隔週 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業
午後	・外活動 ・室内作業	・外作業 ・室内作業 ・ウォーキング	・自治会	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業

・外作業…資源回収、パック卸し、広報（ぼど、チラシ）配布、買い物、ウォーキング（散歩）、缶つぶし

・室内作業…パック整理、広報折り、調理活動、創作活動（陶芸、絵画、クロスステッチなど）さきおり、手芸、等々。

※自治会…毎週1回実施、室内レク年2回実施、体重血圧測定…毎月1回実施

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
5月	新茶販売	
6月	りんご班宿泊行事	
7月	きょうされん夏季物品販売、お茶販売 さくら班宿泊行事	
8月	きょうされんデザインコンクール作品応募 夏季休業	
9月	利用者健康診断(2回)	いのちかがやけ作品展
10月	新入所者新成人を祝う会/交流会(法人合同)	
11月	きょうされん冬期物品販売、お茶販売 インフルエンザ予防接種 「わたしたちの作品展」開催 「手作り品販売会」開催	
12月	ぴゅああーと展作品応募、 日本財団DIVERSITY IN THEARTS展応募 冬期休業	
1月	きょうされんバレンタイン物品販売	
2月	お茶販売	ぴゅああーと展
3月	きょうされん春物品販売、ボーナス支給	

## 2. 生活寮部門

(1) 共同生活援助 (共同生活援助サービス費 世話人配置 4 : 1)

### 1) 運営状況

ア. 開所日数 365 日

イ. 在籍者数 うみ 7 名、そら 7 名 にじ 7 名 かぜ 7 名 計 28 名

### 2) 利用者の状況 (2020 年 3 月 31 日現在)

ア. 利用状況 (年間 80.8%) ※利用日数は月の日数×ユニット定員数 (28 名)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
	30 日	31 日	30 日	31 日	31 日	30 日	
利用日数 28 名分	840 日	868 日	840 日	868 日	868 日	840 日	
実利用日数	679 日	685 日	671 日	735 日	680 日	659 日	
利用率 (%)	80.8%	78.9%	79.9%	84.7%	78.3%	78.5%	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	31 日	30 日	31 日	31 日	29 日	31 日	365 日
利用日数 28 名分	868 日	840 日	868 日	868 日	812 日	868 日	10,248 日
実利用日数	736 日	693 日	700 日	661 日	653 日	728 日	8,280 日
利用率 (%)	84.8%	82.5%	80.6%	76.2%	80.4%	83.9%	80.8%

※ (年度による利用割合)

	2018 年度	2019 年度
開所日数	10,220 日	10,248 日
実利用日数	8,021 日	8,280 日
利用率	78.4%	80.8%

### イ. 人数構成

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
うみ	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
そら	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
にじ	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
かぜ	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
合計	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28

### ウ. 居住地別

東久留米	東村山	清瀬市	西東京市	合計
24	2	1	1	28

### エ. 日中活動の場

法人内			法人外		合計
のぞみの家	活動センターかなえ	なかまの家	福祉作業所	一般就労	
14	7	5	1	1	28

## オ. 年齢構成

性別	～30歳	～35歳	～40歳	～45歳	～50歳	51歳以上	計
女		3	2	3	3	3	14
男	1	3	2	5	2	1	14
合計	1	6	4	8	5	4	28
平均年齢	男性 41.3歳			女性 43.0歳			合計 42.2歳

## カ. 障害区分

### (ア) 手帳

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害 者 手 帳	1種	1級	1	5	1	3		10
		2級		3				3
		3級						
		4級		1				1
	2種	5級						
	なし		1	10	2	1		14
	合計		2	19	3	4		28

### (イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
合計	23	4					1	28

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 てんかん レノックス症候群 自閉症

脳性麻痺による体幹機能障害 ダウン症 小頭症 精神障害 その他

※重度支援加算対象者 16名 ※医療連携加算対象者 1名

## キ. 車いすの使用状況

常時使用		状況により使用		独歩		計
自力移動可	自力移動不可	外出時使用	その他	要介助	独歩	
1	5	1	1	5	15	28

## ク. スタッフの状況（2019年3月31日現在）

### (ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	寮長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
ユニット会議	寮長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
アセスメント・モニタリング	サービス管理責任者、主任、担当職員	随時
日中とのケース会議	担当職員、各寮の職員、	毎月1回
責任者会議	寮長、副寮長、各担当	週1回

### (イ) 運営体制 (述べ人数)

日課表

日勤：08：30～17：15 (07：00～15：45)

早番：07：00～10：00 (06：00～10：00)

遅番：15：45～21：00 (15：45～23：00)

夜勤：15：45～翌日 10：00 (2時間30分の休憩を含む)

(勤務例として)

スタッフ A	月	火	水	木	金	土	日	計
	夜勤		夜勤		早番：遅番			
	16 h		16 h		8 h			40.0 h
スタッフ B	月	火	水	木	金	土	日	計
		夜勤		夜勤		早番：遅番		
		16 h		16 h		8 h		40.0 h

### 3) 重点課題

昨年度から入寮された利用者の方たちも、生活寮での暮らしもなれつつあり、今年度は 28 名の利用者一人ひとりの暮らしに落ち着きが見られました。ただ、集団生活を営んでいる中でこそ、一人ひとりの暮らしの「自己決定」を尊重されていく課題には、スタッフ全員で継続的に取り組む必要性を感じています。昨年度の生活寮うみに引き続き、今年度は生活寮にじの浴室のバリアフリー化工事を行うことができました。また、生活寮そらとうみの間にあるウッドデッキも木製から新素材での改修を行うことができ、利用者及びスタッフの憩いの場として使えるようになりました。

#### ア. 入居者一人ひとりがその人らしい生活を送るための支援の実施

それぞれのユニットでの違いがありますが、利用者が送ってきた人生について家族の方からお話を伺うことを大切に行ってきました。また、加齢に伴い身体健康について、本人の姿から家族の方、通所の職員とも話し合い、障がいに伴う医療だけでなく、婦人科などにつなげることができました。また、てんかんについてもあらたな病院で、利用者の症状にあった薬の変更にも取り組みました。

#### イ. スタッフ同士の報告、連絡、相談できる組織づくり

各会議の役割を確認することができました。職員会議は情勢報告、運営、雇用、事業所の連携などについて共有し制度についても学ぶ場とすることができました。ユニット会議(うみそら・にじかぜ)は、利用者について、暮らしの様子やスタッフ間の引継ぎ、支援でのアイデアや悩みを出し合いました。その中で、改めて職員の労働環境について社労士を呼んで学ぶことができました。

#### ウ. 365日利用に対応した体制づくり

現在 28 名の利用者の生活を支援していますが、利用者だけでなく家庭支援も必要な場面もありました。その中で、すでに生活寮そらとうみでは、365 日を支



援している利用者が複数おられます。そのため、生活寮にじでは週のうち 1 日閉所させていただいている日があり、課題となっています。次年度の職員募集に 2 名の新卒を採用することができ、あたらめて体制づくりを充実させていきます。

## **エ. 新型コロナウイルス対策に向けて**

3 月から本格的に新型コロナウイルスが流行し感染拡大が広がっています。生活寮も集団生活のため自宅生活が可能な利用者家族には要請をお願いしました。しかし、生活リズムの混乱や親御さんの高齢化により、自宅生活をされた方は少数にとどまっています。あらためて、自宅に帰れない利用者への支援も含め、感染の疑いがあった時には、4 つのユニットのうち 2 つのユニットの閉所の協力を家族かたがたに強く協力要請を行いました。終息まで長い戦いであり命にかかわるため、しっかり情報共有し取り組んでいきたいと考えています。

### **4) 各棟の重点課題**

#### **ア. 生活寮うみそら**

##### **(ア) 食事の提供について**

利用者一人ひとりに合わせて食べやすい食事形態を配慮しました。そうすることで、安心して快適な食事の時間にすることができました。

家庭と寮とで食事の形態が異なる事では、今後家族との確認の場を設けていこうと思います。

##### **(イ) 健康・医療について**

利用者に必要な医療については引き続きつなげていく努力行いました。婦人科、脳神経科、皮膚科などです。現在、訪問看護を受けている利用者はうみで 2 名、そらで 1 名、かぜで 1 名となっています。生活寮そらの近くにあり久保クリニックには、利用者全員がかかっており、熱発等の診察について指示をいただいています。また、法人全体での健康・医療の部会に定期的に参加する事により情報共有ができ、感染症対策や、予防を心がけることが出来ました。

##### **(ウ) 防災管理・環境について**

防災管理については、各ユニットで避難訓練を計画的に実施してきました。当初計画での防火・防災管理者講習の受講者を増やすことは出来ませんでした。が、月 1 回の日中支援部門の会議に参加することで、法人内の情報の共有ができるようになりました。しかし、備蓄品確保や防災グッズの購入・個別の避難セットなどの整備はまだ出来ておらず緊急時に備えていきます。

##### **(エ) 職員に関する計画について**

定期的な会議を行い、情報共有・意見交換を行なえるよう環境整備を進めました。また、日中部門の会議に参加したことで法人全体の情報の共有も少しずつですが出来るようになりました。

外部研修には強度行動障害者支援者研修や胃ろう・吸引研修など支援に必要な研修を中心に受講しており、今後も受講者を増やしていけるように環境整備

をすすめて行きます。

**(オ) 地域との連携について**

まだ地域の自治会活動に参加することは出来ていません。日中にスタッフがいないために、地域との連携が遅れています。今後、東久留米市社会福祉協議会の地区担当にも協力を依頼して、障害者のGHへの理解・協力してもらえりような関係を作れるようにしていきます。

**(カ) 消防訓練**

今年度は予定通りに避難訓練・防災訓練を実施することが出来ました。そのうちの1回は実際に発電機の稼働を職員全員で確認することができました。しかし、防災用品の購入や非常食の保管などまだ整備できていないものもある為、早急に整えます。

**(2) 生活寮にじ・かぜ短期入所**

**1) 運営状況**

ア. 開所日数 221日

イ. 在籍者数 15名

**2) 利用者の状況 (2020年3月31日現在)**

ア. 利用状況表

月	定員	月毎の人数枠③	利用実績④	稼働率⑤ = ④/③ × 100
4月	2名	40名	29名	72.5%
5月	2名	42名	27名	64.3%
6月	2名	36名	25名	69.4%
7月	2名	44名	29名	65.9%
8月	2名	32名	23名	71.9%
9月	2名	32名	22名	68.8%
10月	2名	40名	26名	65.0%
11月	2名	38名	27名	71.1%
12月	2名	36名	29名	80.6%
1月	2名	34名	23名	67.6%
2月	2名	32名	22名	68.8%
3月	2名	36名	27名	75.0%
合計	2名	442名	309名	69.9%
平均値	2名	36.8名	25.8名	

※利用可能日については、現在体制上、月～木の4日間のみ。

### 3) 重点課題

それぞれの利用者のニーズに沿った支援を行います。

以前より出ていた連泊もしくは月に複数回の利用の要望については、家庭や日中作業所との連携で何名か実現することが出来ました。連泊でも利用者本人に安心して泊まってもらえるよう支援しました。

### 3. 余暇・居宅部門

#### (1) 重点課題

1) 関係機関と連携し、こどもたちにとって安心して過ごせる場所を提供します。

発達相談室、教育相談室、こども家庭支援センター、病院、学校、他事業所とこどもたちの活動や様子について情報を共有します。また必要に応じて関係機関とケース会議を開き、こどもたち一人ひとりに合った支援を見出し、実践します。

2) 自分の気持ちや要求を様々な方法（言葉やカード）で伝えることができるようにします。

学年別グループや少人数グループでの活動を行うことで、一人ひとりが自分の気持ちが出せる環境を作ります。

3) 人との触れ合いの中で、社会性を身に付けながらスタッフと共に 成長します。

集団での遊びを通して、約束やルールを守れるようにします。また、遊びの中で楽しく学習すること、集団の中で手を使うことで操作性が身につくようにします。

4) 生活していく上でごく普通と思われるような活動（昼食作り、おやつ作りなど）を積極的に取り入れていきます。

こども達と一緒にメニューを考えたりレシピを作ったり準備します。また将来を見据えて、自分で作ることができるように活動も工夫していきます。

5) 地域の人達と交流ができるように公共施設等に出掛け、行事に参加します

児童館など地域のこども達と遊ぶことができる環境を提供します。また、様々な行事に参加し、多くの人と関わりが持てるようにします。

6) 安心して活動に参加できるようにします。

火災、地震などの避難訓練を定期的実施します。また、手洗い・うがいなどの予防といった環境整備を行います。

#### ア. 放課後等ディサービス事業報告

一人ひとりに快適な居場所を提供したいと考え年齢、学年にはとらわれない活動も行うことで、お互いを意識したり、やり取りも少しずつ増えてきています。友達同士で、違う遊びをしても同じ空間にいて自然と友達のことを意識している場面も多く見る事ができました。引き続き手を使うことで操作性を高める活動を継続していき、こども達自身から考えて創作をする場面が増えてきています。長期休暇時は、協力して食事作りをして、「食べる文化」を学習していきました。

長期休暇のつどに継続して行っている活動なので、自分の家で作ってみたり野菜の苦手な子の偏食改善にも繋がり、食べることの大切さも学ぶことができました。

放課後等デイサービスは、指標制度の導入、職員配置についてなど様々な変化がありました。そのような中、今年度も、市内外の同事業所間で、情報の共有を行いながら課題を解決していくことができました。

## (2) 各事業所の報告

### 1) 放課後等デイサービス

#### ア. 運営状況

(ア) 開所日数 247日

(イ) 在籍者数 35人

#### イ. 利用者の状況 (2020年3月31日現在)

##### (ア) 人数構成

<登録者数> 35名(放課後等デイサービス利用者登録数)

25名(日中一時・移動支援利用者登録数)

<1日の活動者数> 10名(放課後等デイサービス)

5名(日中一時：同時サービス利用者数)

移動支援は制限なし

##### (イ) 居住地別

<利用者居住地> 東久留米市35名

##### (ウ) 年齢構成(放課後等デイサービス・日中一時・移動支援含む)

	性別	未就学 児	小学1 ~2年	小学3 ~4年	小学5 ~6年	中学1~ 3年	高校1 ~3年	成人	合計
利用者	男	0	6	8	11	11	10	1	47
	女	1	1	2	0	3	4	5	16
合計		1	7	10	11	14	14	6	63

(エ) 障害区分

ア) 手帳(放課後等ディサービス・日中一時・移動支援を含む)

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳(知的障害)						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害者 手帳	1種	1級		2				2
		2級		1				1
		3級			1			1
		4級			1	1		2
		5級						
	2種	1級						
		2級						
		3級			1			1
		4級	1					1
		5級						
	精神2級						2	2
なし		1	11	15	16	10	53	
合計		2	14	18	17	12	63	

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2 (該当なし)	区分1 (該当あり)	合計
放課後等ディサービス					5	30	35
合計					5	30	35

障害・疾患(医療的ケア)の内容

知的障害 てんかん レノックス症候群 自閉症 脳性マヒによる体幹機能障害 ダウン症  
精神障害 その他

(オ) おもな学校

東京学芸大附属特別支援学校

清瀬特別支援学校

東久留米市立第三小学校 すずかけ学級・普通学級

東久留米市立第七小学校 しらゆり学級

東久留米市立神宝小学校 わかば学級 なのはな学級

東久留米市立南町小学校 たけのこ学級

ウ. スタッフの状況 (2020年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
アセスメント・モニタリング	施設長、正規職員、非常勤職員	随時
保健・車両・防災	看護師(保健衛生のみ)、担当職員	毎月1回

(イ) 運営体制(述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
事務			1		1	
支援員	2	1	11		14	
運転手						
看護師						
会計				1	1	
労務士				1	1	
合計	3	1	12	2	18	

(ウ) 1日の体制

職名		常勤		非常勤	パート	合計	
施設長		1				1	
事務					1	1	
サービス 管理者	放課後等 デイサービス	1	1	1	2	1	4
		合計		3	1	3	7

エ. 消防計画

事前に計画を担当者が立て、職員みんなで話し合いながら進めて行きます。

そのため、訓練の内容・実施方法は、パート職員を含めて多くの人に伝える事で、このみ全体の防災意識向上につなげられるようにしていきます。

## オ. 活動の報告

### (ア) 1日

授 業 日	13:00～	送迎	休 業 日	10:00	活動開始
	13 : 30 ～	活動開始		12:00	お昼
	17:30	あいさつ 送迎		13:30～15:30	午後活動開 始
	18:00	家族お迎え		15:30～	あいさつ 送迎
				16:00	家族お迎え

昼食作り（長期休暇中）・おやつ作り・ゲーム・創作・外遊び・買い物

### (イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り
午後	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)

### (ウ) 1年間

5月	こどもまつり
7月	清瀬特支夏祭り イリアンソス夏祭り
8月	夕涼み会 おひさまサンサンフェスティバル
9月	いのちかがやけ作品展
10月	他事業所合同ハロウィンパレード
12月	にぎやかカーニバル
3月	ぽかぽか春の集い



## 2) 移動支援事業

### ア. 重点課題

(ア) 法人内生活寮の成人の方のニーズに応じていけるようスタッフ体制を整え、市内だけではなく、市外の広域にも求人募集を行います。

必要に応じて生活寮とケース会議を行い、利用者の実態やニーズを把握します。

(イ) 利用者個々の支援方法を統一化します。

ケース記録を残し、統一した支援ができるようスタッフ間での情報提供を行います。また、支援の目的を明確にします。

(ウ) トラブルが行ってしまった時に備えてマニュアルをスタッフ会議などで確認します。

屋外での活動が多い為、支援中のトラブルに落ち着いて対応できるようにスタッフ会議で確認したり、掲示していきます。

(エ) 利用者の将来を見据えての支援を行って行きます。

利用者が将来、自分で登校、帰宅ができるように利用者本人が考えて行動できるような支援体制を整えます。

(オ) 移動支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りを行います。

移動という生活の一部を安心・安全に利用できる制度になるように関係機関とやり取りを行います。

### イ. 移動支援事業報告

移動支援事業では、ただの移動する手段だけではなく、依頼ごとに目標、テーマを決めて支援を行いました。移動支援を利用することで様々なことを学ぶことができます。そこから自信が付き様々な活動にも積極的な一面が増えてきました。本人の持っている力を引き出す大切さと難しさ。を考えることができました。

様々な事情で学校へ自分で行くことの出来なかった方に対しても移動支援を行うことで学校へ行くことができるケースにも対応することができました。

成人に関しては、平日には定期健診の支援を行いました。毎週土曜日には定期的に支援を行うことができました。生活寮の担当者、他の移動支援事業者間でも連携を取り体制が充実するように話し合いの場を設けることができました。

## 3) 日中一時支援事業

### ア. 重点課題

(ア) 家庭環境に課題のある家族が安心して利用できる場を提供していきます。

保護者と学校、その他関係機関と連携を取り、利用者の実態や家庭状況を把握し、個々に合った支援を行います。

(イ) 利用者個々の支援方法を統一化していきます。

支援を記録に残し、統一した支援ができるよう、スタッフ間での情報提供を行います。また得た情報は管理を徹底します。

(ウ) 日中一時支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りを行います。

様々な理由で利用が多くある制度です。安心・安全に利用できる制度になるように関係機関とやり取りを行います。

#### イ. 日中一時事業報告

今年度もわかき学園発達相談室と連携することができ、母親や子どもたちにとって居心地の良い環境作りや子育ての相談もおこなうことができました。今後も要望が増えてくることが予測されます。また、学校に通う事が難しい子どもたち（不登校）へのこのみでの支援、登校支援をおこない、時間をかけて支援する中で子ども自身から折り合いをつけて学校にも行ける日が出来ました。学校には行けなくてもこのみで友達と定期的に過ごすことができ、このみ内では友達の輪を作ることができました。また、学校の先生や病院などと連携を取ることができました。

引き続き、安心できる場所を提供していきます。嬉しいことに、以前このみを利用していた子どもたちが高校生や社会人になり、このみの活動に興味を持ち、利用者としてではなく活動の手伝いをしたいと時折、顔をだしてくれました。ボランティアをしてくれた高校生や社会人の相談にもものることができました。各学校・障害福祉課・子ども家庭支援センター・児童相談所、発達相談室、利用者の主治医と連携を密に行っていく中で支援の仕方を確認し合い、連携することができました。

#### 4. 相談部門

##### (1) 重点課題

1) 引き続き法人内事業所の方を中心に計画相談・モニタリングをおこなっていきます。

ご本人・家族との信頼関係を築いていけるよう面談等を丁寧に行っていました。本人中心の計画にしていくために、本人の生活に関わりのある支援関係者からも話を聞いていきました。

2) 障害のある方を中心に家族・関係者のつながりを大切にしていきます。

担当者会議・支援会議等を開催し本人の思いや希望を確認しあいながら、その人らしい暮らしに向けて、役割分担等をしていきました。関係する事業所の個別支援計画につなげていけるよう連携していきました。

3) 相談支援の役割や今後の進め方について考えていきます。

定期的な相談支援部門会議で検討していきました。また、他相談支援事業所と情報交換をおこなう等連携し、外部研修にも積極的に参加していきました。

## 5. 事務部門

### (1) 重点課題

#### 1) 法人全体で事務の一本化を図ります。

インターネット回線を各事業所に整備し、クラウドとサーバーの活用で各事業所での事務についての情報の共有を図ることができるようになりました。また、勤怠ソフトの導入を進めることで、法人全体の労務管理をスムーズに把握できるようにするため、スタートし始めました。

#### 2) 会計について事業所間での整合性を進めていきます。

サービス区分間での整合性を高めていくため、月毎に会計事務所の巡回時に合わせて確認をとることができるようになりました。

#### 3) 事務職員の能力研鑽を進めていきます。

会計事務所をお願いをし、消費税の入力についての研修や社会保険労務士を招いての研修を開催することが出来ました。

### (2) 配置状況

	本部	のぞみ	かなえ	なかま	生活寮	このみ	合計
常勤職員	2 (兼務①)	1 (兼務①)			1 (兼務①)		2
非常勤職員			1 (産休中)	1			2
パート職員			2 (新規)			1	3
合計		1	3	1	1	1	7

(ア)兼務①はのぞみ1名、生活寮1名が本部も兼務している

(イ)かなえ非常勤職員1名は産休・育休中

### (3) 活動の報告

#### 1) 1カ月

	会計	請求	給与	その他(都度)
上旬	仕分け入力	10日までに 国保連送信	10日までの 職員給与計算	東京都への 変更届提出
中旬	月次報告の 出力		給与預け入れ	会計事務所の 巡回
下旬	未払請求の 整理と入力	利用者出勤と 加算を算出	25日支給の 準備	小口現金の 納税関係

(ウ)小口現金・銀行関係の確認は都度行っている

## 2) 1年間

	内容
4月	東京都変更届、辞令・異動手続き
5月	内部監査
6月	決算、評議員会・理事会
7月	処遇改善金報告
8月	報酬月額変更
9月	補正予算算出
10月	報酬改定による加算申請
11月	年度末調整説明会
12月	扶養控除申告書等申告書関係、補正予算算出
1月	法定調書・支払報告書の提出
2月	処遇改善金申請
3月	補正予算算出、次年度当初予算算出

